

令和4年度 会 務 報 告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

月	運営委員会・常任幹事会	委員会	地域・職域等同窓会	同窓会・学校関連行事等
令和 4年 4月	9 (土) 運営委員会 14 (木) 会計監査 23 (土) 常任幹事会	9 (土) 総務委員会 9 (土) 榎友祭実行委員会		1 (金) 史料館公開 (新着任教職員) 6 (水) 第77回入学式、史料館公開 7 (木)、11 (月) 史料館公開 (新入生) 30 (土) 榎友ウォーク (真鶴町)
5月	7 (土) 運営委員会 8 (日)	7 (土) 榎友祭実行委員会 7 (土) 総務委員会 榎友祭 (小田高ホームカミングデー)・定期総会		7 (土) 「がんばれ!小田高」応援基金運営委員会
			14 (土) 湯河原地区小田高会	21 (土) 校史資料研究協議会
6月	11 (土) 運営委員会	11 (土) 総務委員会 11 (土) 「卒業生の活躍」プロジェクト		11 (土) 「がんばれ!小田高」応援基金運営委員会 17 (金) 史料館公開 (PTA 広報委) 18 (土)、19 (日) 史料館公開 (小田高祭) 28 (日) 第12回小田高自然環境フォーラム
7月	16 (土) 運営委員会	3 (日) 史料委員会		16 (土) 「がんばれ!小田高」応援基金運営委員会 16 (土) 史料館公開 (PTA 役員) 25 (月)～29 (金) 史料館公開 (面談週間)
8月				6 (土) 史料館公開 (学校説明会) 16 (火)～18 (木)、22 (月)、23 (火) 史料館公開 (面談週間)
9月	3 (土) 運営委員会	19 (土) 総務委員会		3 (土) 「がんばれ!小田高」応援基金運営委員会

10月	1 (土) 運営委員会	1 (土) 総務委員会 23 (日) 広報委員会 23 (土) 榿友祭実行委員会 28 (木) 広報委員会	15日 (土) 横浜銀行・小田中小田 高会	1 (土) 「がんばれ！小田高」応援基金運営委員会 14 (金) 史料館公開 (定時制授業) 22 (土) 史料館公開 (学校説明会) 22 (土) 榿友ウォーク (箱根町)
11月	5 (土) 運営委員会	4 (金) 広報委員会 6 (日) 広報委員会 13 (日) 「卒業生の活躍」プロジェクト 20 (日) 広報委員会 28 (月) 広報委員会		5 (土) 史料館公開 (学校施設見学会) 12 (土) 校史資料研究協議会 15 (火) 史料館公開 (3年次日本史授業) 19 (土) 史料館公開 (PTA講演会)
12月	10 (土) 運営委員会	10 (土) 総務委員会 10 (土) 会報「八幡山」第34号発行 11 (日) 史料委員会 24 (土) 榿友祭実行委員会		3 (土) 史料館公開 (学校説明会) 10 (土) 「がんばれ！小田高」応援基金運営委員会
5年 1月	7 (土) 運営委員会	5 (木) 「卒業生の活躍」プロジェクト 14 (土) 榿友祭実行委員会		7 (土) 「がんばれ！小田高」応援基金運営委員会
2月	4 (土) 運営委員会	11 (土) 榿友祭実行委員会 18 (土) 「卒業生の活躍」プロジェクト 25 (月) 総務委員会		4 (土) 「がんばれ！小田高」応援基金運営委員会
3月	11 (土) 運営委員会	6 (月) 総務委員会 8 (水) 「卒業生の活躍」プロジェクト 11 (土) 榿友祭実行委員会 12 (日) 史料委員会 25 (土) 「卒業生の活躍」プロジェクト		3 (金) 4年度同窓会入会式 (第75回) 4 (土) 第75回卒業式 11 (土) 「がんばれ！小田高」応援基金運営委員会

令和4年度小田原高等学校同窓会榿友会 事業報告

1 活動目標

令和4年度の活動目標として掲げた項目及びその結果は次のとおりである。

(1) コロナ禍での同窓会事業の積極的な取り組み

同窓会榿友会は、コロナ禍にあっても、感染対策をしっかりと行いながら、学校、PTA等の協力・連携のもとで、引き続き、総会をはじめ、榿友祭（小田高ホームカミングデー）、自然環境フォーラム、榿友ウォークなどの諸活動や広報、史料の収集・保存・利用・展示、校歌祭への参加など、同窓会事業の着実な実施に努めた。

また、「活躍する卒業生」の企画について、「卒業生の活躍」充実プロジェクトチームを組織し、当該卒業生の発掘に取り組むとともに、活躍する姿を紹介するほか、講演会等へ招へいするなど、充実強化策を検討した。

(2) 同窓会事業への会員参加の促進

学年同期会や地域・職域等同窓会の協力を得ながら、同窓生のネットワークを広げ、各種事業の企画に参加を呼びかけた。また、明治以降の中等教育史料を展示している小田原高校中等教育史料館、窓梅会資料室の公開の充実と更なるPRに、同窓会窓梅会とも連携しながら努めた。

2 委員会等の活動

(1) 総務委員会

- ア 令和4年4月新生生に入学記念品（小田高歌集QRコード付）を配付した。
- イ 榿友祭において、「卒業生の活躍」（経済界篇）のパネル展示を行うとともに、オリジナルグッズの販売、同窓会活動の紹介冊子「榿友会」を配布した。
- ウ 令和5年3月卒業生（高75回）に同窓会入会案内パンフレットを作成し、配付した。
- エ 令和5年3月卒業生（高75回）に入会記念品（タンブラー）を贈呈した。
- オ 同期会を結成した高70回に対し、同期会結成補助金を交付した。
- カ 会員名簿情報（住所変更、物故者、新会員登録、教職員異動など）を随時更新した。
- キ 会員管理ソフト「幹事長」のデータを更新し、同期会への住所情報支援等に活用した。

(2) 交流委員会

- ア 令和4年度榿友祭（小田高ホームカミングデー）の開催
 - 新型コロナウイルス感染症のまん延防止対策が必要な状況の中で、感染防止策を徹底し、5月8日（日）に開催した。
 - コロナ感染予防対策をしながら、「新型コロナウイルスのもとでも、工夫をこらし、やるべきことをやる」との方針を踏まえ、228名の参加であったが、総会及び

八幡山トーク等主要3催事をビデオ収録し、榿友会ホームページ及び榿友祭ホームページに掲載し、見える形で記録を残した。

イ 会員の親睦を深める下記交流事業を、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を徹底しながら実施した。

○ 「第12回自然環境フォーラム」

6月26日(日)に小田原高校視聴覚室で開催した。

○ 「榿友ウォーク」

4月30日(土)に「真鶴お林と三ツ石探索」、10月22日(土)に「錦秋の箱根 植物を見ながら、小鳥の声を聴きながら」をテーマに2回実施した。

ウ 現役生徒を応援する交流事業を実施した。

○ 榿の葉コンサート

10月12日(水)に、視聴覚室で、クラリネット井上弦さん(高26)、ピアノ古屋沙樹さん(高62)の出演者謝礼の補助をした。

エ 令和5年度榿友祭(小田高ホームカミングデー)の企画、準備を進めた。

(3) 広報委員会

ア 会報「八幡山」34号を12月に発行し、会報が届いていない会員のために、会員通信や個人情報の係るものを除き、同窓会ホームページに掲載した。また、会報「八幡山」34号に広告を掲載し、同窓会の財源確保に努めた。

イ 同窓会ホームページを活用し、同窓会活動の周知、参加呼び掛けの手段として活用した。

ウ ホームページを会員及び会員相互の情報発信の場としての利用をより一層促進した。

エ 榿友祭の開催を多くの会員に告知することを目的に、榿友祭フェイスブックページを活用し、榿友会のホームページと合わせ、広報の充実を図った。

(4) 史料委員会

ア 小田原高校中等教育史料館の公開

○ 企画展「ご卒業100年記念 閑院宮が学ばれた小田原中学」を開催した。

○ 保護者の見学機会を増やすため、夏休みの三者面談の期間中に公開した。

○ 公開運営体制を見直し、公開行事のスリム化や公開スタッフ(ボランティア)の募集を検討した。

○ 窓梅会と連携し、史料館の定例公開時に窓梅会資料室を同時公開した。

イ 史料館の整備

○ 放送部作品DVD等を視聴できるように、校史展示室閲覧コーナーにポータブルDVDプレーヤーとヘッドホンを常備した。

○ 教材展示室の鉱物・剥製標本展示ケースのガラス戸棚板1枚が破損したため、取り替えた。

○ 榿友会室の半分は収蔵庫であることから、入口ドアに「収蔵庫」の表示板を設置した。

ウ 史料の保存・活用

○ 生物標本群の絶滅危惧種等をクリーニング・補修して展示し、明治時代の約

90 点にキャプションをつけ、防虫剤を取り替えた。

エ 記念樹関係

学校と協議し、「榿林」シラカシ説明板を設置した。中 38 卒業 50 周年記念樹シラカシ、高 22 卒業記念樹シラカシ、第三代校舎門柱の説明板は、学校が計画的に設置し、校地東北の巨木クスノキの天然記念物指定は学校が検討することとなった。

オ 校史資料研究協議会

展示室運営や史料保存のため、協議会を 2 回開催し、意見交換等を行った。

(5) 校歌祭委員会

第 17 回青春かながわ校歌祭は、10 月 15 日（土）に追浜高校うしお会会長が実行委員長となり、よこすか芸術劇場で開催された。

榿友会は、出演することで準備を進めていたが、新型コロナの感染症の感染拡大に伴い、出演者の感染リスクを考慮し、出演を中止した。

(6) 「卒業生の活躍」充実プロジェクトチーム

ア 小田原高校卒業生の活躍に関する情報の収集・整理及びその活用を同窓会の事業と位置づけ、事業の実施要領を策定した。（次ページ以降に添付）

イ 実施要領に基づくデータベースへの掲載基準を策定し、新たな掲載基準に基づくデータベース（卒業生の活躍リスト）を作成した。

ウ 実施要領に基づき、各委員会が連携し、「卒業生の活躍」事業を推進し、その過程で実施要領や掲載基準を見直し、改善を図る。

3 その他

(1) 小田高祭への参加

令和 4 年 6 月に開催が計画されたが、新型コロナ感染症の感染予防のため、榿友会としての参加は、中止となった。

(2) 女性の役員登用について、各種役員に女性が参加するように呼びかけてきたところ、委員会等に徐々に増えつつある。

(3) 事務局員の複数化に向けた取り組みを進めた。

神奈川県立小田原高等学校同窓会

資料-3

令和4年度一般会計決算書

自：令和4年4月 1日

至：令和5年3月31日

(単位：円)

項・目	当初予算額(A)	決算額(B)	増減額(B-A)	説明
前期繰越資金(ア)	2,255,609	2,255,609	0	前年度からの繰越
収入の部				
1 入会金	1,570,000	1,565,000	△5,000	
1 新卒者入会金	1,565,000	1,565,000	0	同窓会入会金313名
2 中途者入会金	5,000	0	△5,000	
2 会費	6,570,000	6,690,000	120,000	
1 年会費	3,900,000	3,981,000	81,000	年会費1,380名
2 終身会費	2,670,000	2,709,000	39,000	終身会費903名
3 寄付金	10,000	35,000	25,000	
4 負担金収入	40,000	0	△40,000	
5 広告料等収入	250,000	380,000	130,000	同窓会会報広告料等38件
6 雑収入	24,391	39,145	14,754	記念史等売払い代、利息
7 繰入金	0	0	0	
収入計(イ)	8,464,391	8,709,145	244,754	
合計(ア)+(イ)	10,720,000	10,964,754	244,754	

項・目	当初予算額(A)	決算額(B)	増減額(A-B)	説明
支出の部				
1 事務費	1,140,000	870,486	269,514	
1 事務局費	480,000	418,629	61,371	事務局運営経費
2 常任幹事会費	180,000	28,233	151,767	常任幹事会経費
3 校内幹事費	10,000	0	10,000	校内幹事活動経費
4 会員連絡費	20,000	4,240	15,760	会員連絡経費
5 渉外費	80,000	108,540	△28,540	慶弔費、慰労金
6 消耗備品費	90,000	47,575	42,425	事務用消耗品代
7 雑費(振込手数料)	280,000	263,269	16,731	会費等振込手数料
2 事業費	7,220,000	6,020,196	1,199,804	
1 檜友祭・総会費	800,000	696,962	103,038	檜友祭、総会経費
2 入会記念品費	450,000	474,600	△24,600	同窓会入会記念品代
3 総務委員会費	270,000	271,145	△1,145	総務委員会経費
4 交流委員会費	320,000	205,260	114,740	交流委員会経費、交流事業経費
5 広報委員会費	70,000	25,000	45,000	広報委員会経費
6 史料委員会費	70,000	75,463	△5,463	史料委員会経費
7 校歌祭委員会費	500,000	27,160	472,840	校歌祭会費等
8 会報発行費	3,700,000	3,762,163	△62,163	同窓会報34号印刷・発送代
9 広報費	270,000	250,498	19,502	同窓会ホームページ管理費
10 地域職域同窓会費	260,000	2,000	258,000	地域職域同窓会参加費
11 同期会結成補助費	150,000	50,000	100,000	同期会結成費補助金
12 中等教育史料館費	360,000	179,945	180,055	中等教育史料館運営経費
3 教育費	600,000	577,440	22,560	
1 教育活動費	520,000	500,000	20,000	運動部等全国大会等参加激励金
2 学校援助費	80,000	77,440	2,560	学校支援費、ピアノ調律代
4 積立金	1,460,000	1,460,000	0	
1 記念事業積立金	200,000	200,000	0	記念事業積立金
2 予算調整積立金	1,260,000	1,260,000	0	予算調整積立金
5 予備費	300,000	0	300,000	
1 予備費	300,000	0	300,000	
支出計(ウ)	10,720,000	8,928,122	1,791,878	
当期収支差額(イ)-(ウ)	-	△218,977	-	

前期繰越資金(ア)	収入計(イ)	支出計(ウ)	次期繰越資金
2,255,609	8,709,145	8,928,122	2,036,632

上記について、収入・支出伝票、帳簿、通帳を監査しましたところ、正確であることを認めます。

令和5年4月24日

神奈川県立小田原高等学校同窓会 会計監査 室伏 創之 ㊞

神奈川県立小田原高等学校同窓会 会計監査 田村 佳江 ㊞

神奈川県立小田原高等学校同窓会
財 産 台 帳

資料-4

自：令和4年4月 1日

至：令和5年3月31日

【基本金・積立金】

(単位：円)

資産の種類	預貯金名	期首残高	増減額	期末残高
1 基本金	横浜銀行 積立定期預金	11,532,064	195	11,532,259
	さがみ信用金庫 積立定期預金	13,447,288	227	13,447,515
2 記念事業積立金	横浜銀行 積立定期預金	1,091,053	200,017	1,291,070
3 予算調整積立金	さがみ信用金庫 普通預金	3,100,006	1,260,027	4,360,033
合 計		29,170,411	1,460,466	30,630,877
増減額の内訳		増の内訳 ・預金利息 466 (基本金：422、積立金：44) ・記念事業積立金の積み増し 200,000 ・予算調整積立金の新規積み立て 1,260,000		

【保管金】

(単位：円)

資産の種類	預貯金名等	期首残高	期末残高	
4 保管金	横浜銀行口座	入会金	1,565,000	1,570,000
		年会費	1,783,530	1,879,236
		その他	0	0
		計	3,348,530	3,449,236
	郵便局振替口座	年会費等	1,381,565	923,662
		終身会費	11,106,647	10,632,332
		その他	0	0
		計	12,488,212	11,555,994
	ゆうちょ銀行口座	—	2,201,077	1,990,693
	小口資金(現金)	—	54,532	45,939
		計	2,255,609	2,036,632
	合 計		18,092,351	17,041,862
	残高の内訳		前期前受金	当期前受金
15,836,742			15,005,230	
		一般会計前期繰越資金	一般会計次期繰越資金	
		2,255,609	2,036,632	

【基本金・積立金・保管金】

(単位：円)

合 計	47,262,762	47,672,739
-----	------------	------------

注) 一般会計では、現金預金から次年度前受分を差し引いた金額を「資金」として取り扱っている。

上記について、預貯金通帳、証書等を監査しましたところ、正確であることを認めます。

令和5年4月24日

神奈川県立小田原高等学校同窓会 会計監査 室伏 創之 ㊞

神奈川県立小田原高等学校同窓会 会計監査 田村 佳江 ㊞

令和5年度小田原高等学校同窓会樫友会 事業計画

1 活動目標

(1) コロナ禍での同窓会事業の積極的な取り組み

3年以上続いたコロナ禍も、2類から5類へと感染症の取り扱いが変わるとともに、社会経済活動を優先するとの考え方のもと、徐々に様々な制約が解除されてきている。こうした動きを踏まえ、同窓会樫友会は、これまで同様に必要な感染対策をしっかりと行いながら、学校、PTA等の協力・連携のもとで、引き続き、総会をはじめ、樫友祭（ホームカミングデー）、樫友ウォークなどの諸活動や広報、史料の収集・保存・利用・展示、校歌祭への参加など、同窓会事業を着実に実施する。

また、「卒業生の活躍」事業については、プロジェクトチームの検討を踏まえ、当該卒業生の発掘に取り組み、分野別にデータベースに掲載するとともに、その中から活躍する姿を紹介することや、講演会等へ招へいするなど、今後ともその充実強化に努める。

(2) 同窓会事業への会員参加の促進

学年同期会や地域・職域等同窓会の協力を得ながら、同窓生のネットワークを広げ、各種事業の企画に参加を呼びかける。また、明治以降の中等教育史料を展示している小田原高校中等教育史料館、窓梅会資料室の公開の充実と更なるPRに、同窓会窓梅会とも連携しながら努める。

2 委員会等の活動

(1) 総務委員会

ア 令和5年12月に、令和5年版同窓会樫友会会員名簿を発行する。

イ 令和5年4月新入生に入学記念品（小田高歌集QRコード付）を配付する。

ウ 令和5年5月樫友祭において、同窓会活動の紹介冊子「八幡山」を配布するとともに、「卒業生の活躍」（サイエンス篇）のパネル展示を実施する。

エ 令和6年3月卒業生（高76回）の同窓会入会用パンフレットを配付する。

オ 令和6年3月卒業生（高76回）に入会記念品を贈呈する。

カ 同期会を結成した卒回に対し、同期会結成補助金を交付する。

キ 会員名簿情報（住所変更、物故者、新会員登録、教職員異動など）を随時更新する。

ク 会員ソフト「幹事長」のデータを更新し、同期会への住所情報支援等に活用する。

(2) 交流委員会

ア 令和5年度樫友祭（小田高ホームカミングデー）の実施

5月14日（日）に、主催者のメイン企画として、次の事業を実施する。

① 中等教育史料館企画展と八幡山トーク

第100回箱根駅伝記念「襷をつないだ小田高卒業生の選手たち」

- ② 八幡山コンサート
ヒカシューと巻上公一の世界
- ③ 卒業生の活躍
サイエンス分野で活躍中の卒業生のパネル展示と小冊子配布
- イ 会員の親睦を深める交流事業の実施
 - 「樫友ウォーク」
第11回 令和5年4月22日 「野花咲く仙石原を歩く」
第12回 日時未定
 - 樫友セミナー
卒業生による講演会を企画する。(オンライン開催を含めて検討)
母校のスーパーサイエンスハイスクール(S S H) 関連事業との連携を最優先に検討する。
- ウ 現役生徒を応援する下記交流事業を実施する。
 - 小田高音楽科が企画する「樫の葉コンサート」を支援する。
 - 助演同窓生出演料補助、記録CD作成を行う。
- エ 令和6年度樫友祭(小田高ホームカミングデー)の企画、準備を進める。

(3) 広報委員会

- ア 会報「八幡山」35号を12月に発行する。掲載内容は概ねこれまでの会報に準ずる。また、広告掲載の状況を見ながら、会員の情報発信と交流の場に相応しい掲載内容の充実を図る。
- イ リニューアルした同窓会ホームページの周知を図るとともに、同窓会活動の周知、参加呼びかけの手段としての活用や、会員及び会員相互の情報発信の場としての利用を一層促進する。

(4) 史料委員会

- ア 小田原高校中等教育史料館の公開
 - 史料館開設から公開行事が増え、史料委員の負担が大きくなったため、公開行事をスリム化するとともに、史料館公開スタッフ(ボランティア)が受付・案内等を行う体制作りを進める。同時に来館者が小田高の歴史をよりの確に把握できるように、解説リーフレットを配布する。
 - 企画展「第100回箱根駅伝記念 襷をつないだ小田高卒業生の選手たち」を開催し、箱根駅伝のコースを作った澁谷寿光先生(中7)をはじめ、総合優勝した選手たち、同じ大会をともに走った選手たちを紹介する。
 - 窓梅会と連携し、史料館定例公開時に窓梅会資料室の同時公開を進める。
- イ 史料館の整備
校史展示室の中央展示ケース内蛍光灯をLEDに取替えることを検討する。
- ウ 史料の保存・活用
 - 大量の未整理史料の整理・保存を進める。
 - 図書展示室の洋装本の目録作成を開始する。
 - 生物標本群は、絶滅危惧Ⅱ類を中心にクリーニング・補修して展示し、大正時代の約80点にキャプションをつける。

エ 校史資料研究協議会

展示室運営と史料保存のため、意見交換等を行う。

(5) 校歌祭委員会

第18回青春かながわ校歌祭は、鶴見高校鶴陵会会長が実行委員長となり、10月21日（土）に神奈川県立青少年センターで開催する予定としている。

校歌祭委員会は、出演する方向で準備を進め、かながわ校歌振興会の講じる新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を遵守し、学校側の理解と協力を得て、出演する。

(6) 「卒業生の活躍」充実プロジェクトチーム

ア 新たに「掲載者選考会」を設置し、その適切な運用を図るとともに、データベースの充実を図る。

イ 同期生や地域・職域等同窓生の活躍に関する情報を積極的に提供いただくように働きかけるとともに、「卒業生の活躍」に関する情報の発信・活用を積極的に進める。

ウ 「卒業生の活躍」事業として、各委員会が協力し、次の事業を進める。

- ① 小田原高校のスーパーサイエンスハイスクール (SSH) 関連事業への支援を、母校の意向を理解した上で、積極的に進める。
- ② 「卒業生の活躍」に関する情報の発信などを行うデジタルサイネージを小田原高校エントランスホール内の同窓会コーナーに設置することについて、学校と具体的な検討を進める。

エ ウの事業に併せて、各委員会において、次の活動を推進する。

- ① 総務委員会
 - サイエンス分野の「卒業生の活躍」パネルを作成・展示する。
 - 小冊子「樞友会」へ「卒業生の活躍」情報を掲載する。
- ② 交流委員会
 - サイエンス分野の「卒業生の活躍」小冊子を作成する。
 - 小冊子掲載者の講演会の開催を検討する。
- ③ 広報委員会
 - 同窓会報「八幡山」及び同窓会ホームページへの掲載を進める。
- ④ 史料委員会
 - 同窓会員名簿等をベースに卒業生の調査を進める。
 - 校史展示室に置く「卒業生の活躍」パンフレットに、公になっている卒業生や旧職員を追加する。
 - 史料館画廊の「卒業生の活躍」パネルを更新する。

3 その他

(1) 各種役員に多くの女性が参加するように、引き続き呼びかけを行う。

(2) 事務局員の複数化に向けた取り組みを引き続き進める。

令和5年度 一般会計予算

(単位:円)

項・目	令和5年度予算額	令和4年度予算額	摘 要
前期繰越資金	2,036,632	2,255,609	前年度からの繰越金
収入の部			
1 入会金	1,575,000	1,570,000	
1 新卒者入会金	1,570,000	1,565,000	高校75回卒入会金(314名)
2 中途入会者	5,000	5,000	中途入会者(1名)
2 会費	6,600,000	6,570,000	
1 年会費	3,600,000	3,900,000	年会費(1,200名分)
2 終身会費	3,000,000	2,670,000	終身会費(1,000名分)
3 寄付金	10,000	10,000	寄付金
4 負担金収入	40,000	40,000	校歌祭参加負担金
5 広告料等収入	250,000	250,000	榎友祭祝金、会報広告掲載料
6 雑収入	28,368	24,391	記念史等販売代、利息
7 繰入金	0	0	
合 計	10,540,000	10,720,000	
支出の部			
1 事務費	1,420,000	1,140,000	
1 事務局費	480,000	480,000	事務局運営経費
2 常任幹事会費	180,000	180,000	常任幹事会開催経費
3 校内幹事費	10,000	10,000	校内幹事会開催経費
4 会員連絡費	20,000	20,000	会員連絡経費
5 渉外費	80,000	80,000	慶弔費
6 消耗備品費	370,000	90,000	事務局用PC更新、消耗品代
7 雑費(振込手数料)	280,000	280,000	年会費等振込手数料
2 事業費	7,650,000	7,220,000	
1 榎友祭・総会費	1,000,000	800,000	榎友祭・総会開催経費
2 入会記念品費	480,000	450,000	入会記念品代
3 総務委員会費	170,000	270,000	総務関係経費
4 交流委員会費	320,000	320,000	交流事業開催経費
5 広報委員会費	70,000	70,000	会報編集等経費
6 史料委員会費	70,000	70,000	史料収集、保存等経費
7 校歌祭委員会費	500,000	500,000	校歌祭参加経費
8 会報発行費	4,000,000	3,700,000	会報印刷・発送経費
9 広報費	270,000	270,000	ホームページ管理費
10 地域職域同窓会費	260,000	260,000	地域職域同窓会参加経費
11 同期会結成補助費	150,000	150,000	同期会結成補助金
12 中等教育史料館費	360,000	360,000	中等教育史料館管理運営経費
3 教育費	600,000	600,000	
1 教育活動費	520,000	520,000	運動部等激励金、教育活動支援費
2 学校援助費	80,000	80,000	ピアノ調律代ほか学校援助経費
4 積立金	570,000	1,460,000	
1 記念事業積立金	200,000	200,000	記念事業積立金
2 予算調整積立金	370,000	1,260,000	予算調整積立金
5 予備費	300,000	300,000	
1 予備費	300,000	300,000	予備費
合 計	10,540,000	10,720,000	

令和5年度小田原高校同窓会常任幹事会議事録

日時 令和5年4月29日(土) 14:00～15:28
会場 小田原お堀端コンベンションホール

- 1 開 会 (14時00分)
司会の山本副会長より開会宣言があった。
- 2 吉川会長挨拶
多数のご参加ありがとうございます。この3年はコロナ禍で百二十周年記念事業など中止せざるをえない事業が多くある中でも、少しずつ感染対策をしながら、同窓会活動に取り組んで来ました。今年5月からは、5類感染症へ移行し、樫友祭では、来年100回大会を迎える「箱根駅伝」をテーマとした企画を取り上げることとしました。校歌祭も昨年は感染の恐れから不参加でしたが、今年は参加することで準備を進めるなど、同窓会の様々な積極的な推進を考えています。
さらに、中等教育史料館の公開スタッフ募集など、活動範囲をさらに広げていきたいと考えています。
こうした取り組みを推進するため、皆様の協力を得ながら事業に取り組んでいきたいと考えていますので、皆様のご協力をお願いします。
- 3 中島学校長挨拶
就任3年目となり、同窓会からは後輩への様々なご協力をいただき感謝しています。
令和5年度からは、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の指定を受けました。指定を受けて、理系、文系にとらわれず、施設整備をはじめ取り組みをさらに推進していきたいと考えています。
今年度の進学状況ですが、校訓に従い生徒が努力した結果、優れた進学実績をあげることができました。このほか、体育館の耐震工事に伴い、「がんばれ小田高応援基金」から支援をいただいています。これまでの支援に感謝し、引き続きご協力をお願いいたします。
- 4 定足数の確認
司会が、常任幹事会構成数97人(過半数は49人)、構成出席者20人(会議出席者は26人)、委任状提出構成者42人の合計62人で定足数に達していることを報告。
- 5 議長選出
高33回河鍋 章氏を選出した。
- 6 議事録署名人選出
高20回同期会 新保 明氏、横浜銀行・小田中小田高会 古性 武志氏(高32)を選出した。

以下、常任幹事会の次第の順に、議事を進める。

- 7 議 事
 - (1) 総会付託事項
 - ア 令和4年度会務報告(案)、事業報告(案)、一般会計決算(案)、財産台帳について
 - イ 会計監査の結果報告について の2件を一括審議
 - アについて、会長、各委員長及び会計より、配布資料1～4をもとに説明した。
 - イについては、室伏会計監査より「4月17日(月)～21日(金)の間に会計監査を実施した結果、会計処理は適切であったと認める。」との報告があった。

(主な質疑)

横浜銀行・小田中小田高から、資料1「会務報告」中の「地域・職域等同窓会」欄に、10月15日に開催し、記載を求める発言があった。

そのほかに発言はなかった。

【採決】議案は、原案通り承認された。

- ウ 令和5年度事業計画(案)及び一般会計予算(案)について
会長及び各委員長及び会計より配布資料5、6をもとに説明した。

議長が質問等を受けつけるも、質問等の発言はなかった。

【採決】議案は、原案通り承認された。

(2) 総会付議事項

- ア 役員改選に伴う推薦(案)について

役員改選の年であることから、会長より配布資料7で、会長、副会長、会計及び会計監査の改選について、役員候補者選定委員会での議論の結果を踏まえ、新役員の推薦について説明があった。

会長の説明の後、3月4日(土)に開催された役員候補者選定委員会で委員長を務めた小澤稔氏(高16)から、新役員を推薦することの適否等について議論した結果、全会一致で推薦することとしたとの報告があった。

(主な質疑)

事業計画で、「役員に女性の参加を促す」とあるが、今回の改選案で女性が減ってしまった理由は何か。(南足柄樫友会 田代氏)

女性の参加を求めたかったが、今回の改選では難しく、次回以降の改選では選定をしていきたい。(会長)

ほかに発言はなかった。

【採決】議案は、原案通り承認された。

- イ 令和6年度総会の開催について

議長から、令和6年5月12日(日)10時～小田原高校 視聴覚室で開催するということを報告し、承認された。

本日の協議を受け、5月14日(日)開催の令和5年度同窓会総会に、「(1)の総会付託事項は、常任幹事会の承認事項として報告し、(2)総会付議事項は、総会で審議することとします」と、議長が発言した。

(3) その他

会長から、以前に常任幹事会終了後に開催していた懇親会を、今年は感染対策上実施しなかったが、次年度以降実施を考えたいとの発言があった。

9 閉会(15時28分)

司会の山本副会長が閉会を宣言した。

令和5年4月29日（土）に開催された、令和5年度小田原高校同窓会常任幹事会の議事内容は、上記の通りであることを確認する。

令和5年5月10日

議 長 河 鍋 章 ⑩

議事録署名人 新 保 明 ⑩

議事録署名人 古 性 武 志 ⑩

※ 原本は、事務局で保管

令和4年度「『がんばれ！小田高』応援基金」会計報告

自 令和 4年4月 1日
至 令和 5年3月31日

収入の部（円）

項目	金額	備考
繰越金	4,185,566	
寄付（個人）	534,000	104名
寄付（団体）	0	
横浜銀行預金利子	30	
計	4,719,596	

支出の部（円）

項目	件数	金額	備考
進路指導・進学研究	1	115,110	教員向けセミナー受講料（数学・国語・地歴公民）
勉強合宿・勉強会	0	0	
理科教育	0	0	
学校説明会	0	0	
部活動	2	263,080	体育館工事に伴う代替施設への生徒交通費の補助
運営費	47	104,017	礼状用はがき購入 払込用紙印刷代 郵便振替払い込み料金 受払通知票郵送料
その他	0	0	
計	50	482,207	

差引の部（円） 4,719,596 — 482,207 = 4,237,389

運営委員会メンバー（令和5年3月31日現在）

委員長	吉川 伸治	同窓会会長
副委員長	萬年 聡子	P T A会長
	國分 尚	同窓会副会長
	本多 高弘	同窓会副会長
	剣持 栄	同窓会副会長
	岩本 慎一	同窓会副会長
会計	山本 妙子	同窓会副会長
書記	上野 由美	P T A副会長
書記	川合 栄二	P T A副会長
書記	鈴木 春映	P T A副会長
書記	生月 英子	P T A副会長
書記	須谷 拓文	P T A副会長